

## 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172902439		
法人名	医療法人社団 及川医院		
事業所名	グループホーム おいかわ 1階		
所在地	旭川市豊岡4条10丁目4番1号		
自己評価作成日	平成22年8月20日	評価結果市町村受理日	平成22年9月29日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0172902439&amp;SCD=320">http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0172902439&amp;SCD=320</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジェント株式会社
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内
訪問調査日	平成22年9月15日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホーム おいかわ 基本理念
1、入居者さんを、個人として尊重し、プライバシーを守り、安心と尊厳のある生活を実現するようつとめます。
1、入居者さんが主体的な決定を行えるよう支援し、その決定を尊重します。
1、入居者さんが、安らぎと自信が感じられることができ、かつ安全と衛生が保たれた環境で生活が出来るように援助します。
1、入居者さんが、その能力を最大限に発揮できるように努め、適切な介護を継続的に行うとともに、適切な医療が受けられるよう援助します
基本理念を意識し支援しています。医療面の入居者さんも積極的に受け入れている。(在宅自己注射・胃瘻・ストーマ・透析・在宅酸素等)

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

グループホームおいかわは、閑静な住宅街と交通の利便性の富んだ中に開設され、「希望」「愛」「和」「幸福」を理念として、利用者を個人として尊重し、プライバシーを守り、安心と尊厳の生活がホームで実現できるように努めている。
他のホームに見られない医療頻度の高い胃ろうや在宅自己注射、ストーマ、透析等の利用者を隣接する関連医療法人があることから積極的に受け入れているのが特徴的である。また、看護師を中心とした内部研修が徹底されており、看護師とスタッフとの間で、その日の利用者の健康状況を知らせるワンポイント観察表をつくって連携を密にする工夫をしている。
例年、開催の「おいかわ夏祭り」には、地域に呼びかけのチラシを配布する等して、参加者に、施設に対する理解と啓発にも努めている。

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します			
項目	取り組みの成果 該当するものに 印	項目	取り組みの成果 該当するものに 印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き生きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

## 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入居者さんを、個人として尊重し、プライバシーを守り、安心と尊厳のある生活が実現するよう努めている。ホームの基本理念は開設当初から職員が意識して実践している。	「希望」「愛」「和」「幸福」を事業所独自の理念として作りあげ、職員全体で共有している。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	開設当初より町内会には入会し、行事等には参加している。地域の保育園児が散歩の途中に寄ってもらったりしている。	町内会に加入し、町内清掃、再生資源回収などの町内行事に参加している。また、「おいかわ夏祭り」に参加を呼びかけ、施設に対する理解と啓発に取り組んでいる。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	見学者や会合での話の中で認知症やホームの役割等を話し理解を求めている。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	ご家族・町内会・見識者などの協力を得て不定期に年6回開催したが参加者が固定され参加者も少なくなかなかスムーズな開催とはいかなかった。地域住民・ご家族の協力を一層深めるように議題等も考えながら開催したい。	不定期に年6回を開催されている。今後とも地域住民や家族の協力を得ながら運営推進会議の内容の充実に期待します。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	今年1月にはスプリンクラー設置して監査等に来訪された。札幌の火災に関連して消防・旭川市建築指導・介護高齢課などが査察にこられた。地域包括センターの研修にも積極的に参加している。	市担当者や包括支援センターとは、日常の業務を通じて情報交換と相互の連携を深めるよう努めている。また、包括センターの研修にも参加している。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全体会議・フロアー会議において身体拘束禁止に取り組んでいる。スタッフの認識も一致している。	管理者及び職員は身体拘束禁止に取り組んでおり、職員全体で認識の共有が行われている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	全体会議・フロアー会議において話し合いの場を設けている。管理者・看護師等が勉強会等を実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者が外部研修に参加し学んでスタッフに説明している。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前・契約凍結時に必ず家族等に十分時間をとり説明・同意をいただいている。不安や疑問の際はその都度、説明し理解を頂いている。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者さんご家族の要望事項等を気軽に話せる雰囲気を作り、要望事項を反映するように心がけている。	家族や来訪者等が、意見や苦情等を言い表せるように意見箱を設置しており、利用者、家族が気軽に話しかけのできる雰囲気作りにも努めている。	
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議・ミーティングなどで話し合いや、意見を聞いて業務改善に取り組んでいる。	定期的に開催する全体会議やミーティングで職員の意見や提案を業務改善に活かしている。特に看護師を中心とした内部研修に取り組んでいるのが特徴的である。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	施設長は管理者を兼ねており日頃よりスタッフのキャリアアップに取り組んでいる。労働環境・やりがいをもてるように会議等において職員の意見を聞いて出来る限り改善している。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員に対し研修・セミナーの開催などを回覧し積極的な参加をうながしている。看護師による勉強会を頻回に実施して能力の向上を図っている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム研究会・合同研修会などの職員参加して、他事業所との連携を図るようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に本人・家族に来所していただき、要望事項・身体状況などお聞きし対応している。本人が来所できない場合は、自宅・病院等に出かけて説明等をしている。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に、ご家族から今までの過程やご苦勞を傾聴し、ご家族との関係を築いている。気軽に相談できる雰囲気づくりに努めている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時に、何の支援を必要としているか、何を求めているのか見極め必要な支援・介護・医療等を提供している。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の状況をよく見極め、その人らしい生活をしていただけるように、信頼関係を構築するように心がけている。		
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	機会あるごとに、入居者さんの状況を伝え何かあればご家族に協力してもらえる関係を築いている。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人知人との面会、外出・外泊などできる限り希望に添うように、また面会制限はしていない。	友人、知人など馴染みの人との交流が途切れないように、面会、外出、外泊などの希望に添えるよう支援している。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者さん個々が穏やかに過ごせるように職員が個々の個性を尊重しながら配慮し行動している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も入院先等をたずねて状況を把握し家族の相談等に対応している。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中から会話・行動・表情・そぶり等から本人の希望等をさがしスタッフ全員で検討し実践している。	一人ひとりの思いや暮らし方の希望をコミュニケーションの中から聞き出し意向の把握に努めている。また、職員間で情報の共有が行われている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	今までの、生活習慣をご家族や本人からよく聞き今までの生活習慣を崩さないように努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝のミーティングで入居者さん個々の状況等を連絡してスタッフ全員で情報を共有して状況把握している。一人ひとりの管理簿・連絡ノートにも記載回覧している。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者さん・ご家族からご意見や思いを聞き全体会議・フロア会議等で話し合いサービス担当者会議を経て介護計画を作成している。	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族の意見や思いを反映するようにしている。また、介護計画はカンファレンス、モニタリングを通じて職員の意見を聞いて作成している。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者さん一人ひとりのファイルを作成し、食事量・血圧・脈拍・体温・尿便回数・その他特異事項等を記入、日々の状況記入しサービス計画に役立てている。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人・ご家族の状況、ニーズ対応し柔軟に対応できる体制をとっている。外泊や外出等に対するの送迎はもとより緊急時にも対応できる。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居者さんが地域に溶け込めるように町内会の行事等に参加したり、町内を散歩したりして豊かな暮らしが出来るように支援している。		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している	ご本人や家族が希望する病院を受診している。希望が無い場合は医療法人の及川医院を受診している。毎週及川院長が往診して状況を把握している。	本人や家族の希望するかかりつけ医となっている。また、関連する医院からの往診や適切な医療を受けられるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は入居者さんの健康管理に気を配り管理日誌・連絡ノート・メモ等に記載し看護師に連絡忘れの無い様にし常に連携を図っている。常に適切な医療を受けられるようにしている。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には職員が医療機関と家族の連絡等を密に取り状況報告・入院時必要品等の運搬、ご家族の要望などを聞き取り対応している。かかりつけ医とは常に情報提供などをして関係づくりに努めている。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重症・重度化した場合はどのように対応するか常に家族と話、意思確認をしている。重度化した場合にはどうするかかかりつけ医と、常に話し合っている。ターミナルケアは今のところ実践されていない。	重症、重度化した時の対応方法を家族と意思確認をしている。また、重度化した場合は、かかりつけ医と相談し、事業所ができることを十分に説明しながら方針を職員間で共有している。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	看護師を中心に勉強会を実施している。常に急変時及び事故発生時に対応できるようにしている。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署・消火設備会社の協力を得て通報訓練・避難訓練・消火訓練などを定期的に行っている。町内会等についても緊急時の対応を依頼している。	今年、スプリンクラーの設置が完了しており、消防署などの協力を得て、定期的に避難訓練などを実施している。	緊急時の具体的な避難誘導方法やスプリンクラー作動時の対処方法など日頃からの実践活動を期待します。
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に個人として尊重し、安心と尊厳のある生活が実現できるように入居者さん個々に対応している。	個人を尊重し、誇りやプライバシーを損ねるような言葉がないようコミュニケーションや言葉がけに努めている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者さんの主体的決定を尊重し又行える様に支援しその決定を尊重する。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者さん個々のペースに合わせて可能な限り対応し、強制はしていない。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入居者さん個々の生活習慣、好みなどを尊重し出来る限り支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者さんの嚥下状況・咀嚼能力などに合わせて調理し、準備できる場所は手伝ってもらい職員と一緒に食事をしている。	食事が楽しみになるように利用者の健康状態にあわせて調理し、共用室には、楽しみである毎日の献立内容が、工夫された壁紙に大きく表示されているのが特徴的である。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量(主食・副食)・水分摂取量など日々チェックし個々の記録簿に記載し確認・把握をに対応している。体調・状態に合わせた調理・形態にしてバランスを考え支援している。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアの大切さは職員が理解している。声掛け、誘導、見守りなどしながらそれぞれの能力に応じた対応をしている。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排便チェック表で管理し職員・看護師と協力しながら個々の体調・パターンなどを考慮しながら自立に向けた支援をしている。	排泄チェック表で排泄パターンを把握し、トイレで排泄できるよう自立に向けた支援をしている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	入居者さんの生活状況・体調・食事量など考慮しながら飲食物を工夫して便秘予防に努めているが薬に頼らなければならない場合が多くなってきている。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入居者さんの希望や体調に合わせた入浴を心がけている。楽しく入浴できるように入浴剤の使用や雰囲気づくりに心がけている。入浴日は週4回。特別の場合は随時入浴。	一人ひとりの希望やタイミング、体調に合わせて支援している。また、入浴は週2回となっており、本人が希望すれば、曜日や時間等が対応可能となっている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活習慣・体調などを考慮してその状況に応じた対応し、気持ちよく睡眠できるよう配慮している。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報を個々の記録簿にファイリングし職員が薬の内容を確認できるようにしている。(効能・効果・副作用等)		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	楽しく日々を過ごせるように入居者さんの同意を得てできそうなことは、お願いしている。感謝の気持ちを伝えている。洗濯手洗い・献立メニュー掲示・簡単な掃除等		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>個々の身体状況・健康状況などを考え、なるべく希望に添えるよう心がけている。散歩はもとより花見・イベント見学・買い物等は実施している。</p>	<p>一人ひとりの身体状況、健康状態を考慮しながら、希望に添えるよう散歩をはじめとして、花見・イベント見学・買い物などを支援をしている。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族の同意・希望により小額のお金を持っている方もいるがその他の方は普段はご家族・本人等の同意を得てお金を預かり、買い物のときに渡して支払をしてもらっている。</p>			
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>入居者さんが電話を個室に設置している方もいるが、ない方も職員に申し出たり、かけたいしぐさ等を感じ取り対応している。手紙は一緒にポストまで行ったりして投函している。</p>			
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居間・廊下・食堂等に四季を感じる飾り付けをしていたが、火災等のこともあり可燃性の飾りは職員と話し自粛した。入居者さんと一緒に飾り付けはしている。入居者さんが心地よく日常が過ごせるようにTV・CD・日光などに配慮している。</p>	<p>ほとんどの利用者が車椅子のため、余裕のある空間のなかにソファや椅子、テーブルを配置し、明るい採光に配慮している。また、むかし懐かしい童謡などのBGMを流して、居心地よく過ごせる雰囲気になっている。</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールにソファを置き思い思いに談話・談笑できるように工夫している。</p>			
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者さんが家族と相談しながら思い思いの家具やなじみの品々を持ち込み入居者さんが居心地よく過ごせるようにしている。職員もアドバイスしながら実施している。</p>	<p>利用者や家族と相談しながら使い慣れた家具やなじみの品々を持ち込んで、居心地よく過ごせる工夫をし、全体的にきれいに整頓された居室になっている。</p>		
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>入居者さん個々の状況に合わせてできることできないことをスタッフ間で話し合い日々検討し安全で自立できる生活が送れるようにしている。</p>			



## 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172902439		
法人名	医療法人社団 及川医院		
事業所名	グループホーム おいかわ 2階		
所在地	旭川市豊岡4条10丁目4番1号		
自己評価作成日	平成22年8月20日	評価結果市町村受理日	平成22年9月29日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0172902439&amp;SCD=320">http://system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0172902439&amp;SCD=320</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジェント株式会社
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内
訪問調査日	平成22年9月15日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホーム おいかわ 基本理念
1、入居者さんを、個人として尊重し、プライバシーを守り、安心と尊厳のある生活を実現するようつとめます。
1、入居者さんが主体的な決定を行えるよう支援し、その決定を尊重します。
1、入居者さんが、安らぎと自信が感じられることができ、かつ安全と衛生が保たれた環境で生活が出来るように援助します。
1、入居者さんが、その能力を最大限に発揮できるように努め、適切な介護を継続的に行うとともに、適切な医療が受けられるよう援助します
基本理念を意識し支援しています。医療面の入居者さんも積極的に受け入れている。(在宅自己注射・胃瘻・ストーマ・透析・在宅酸素等)

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

## ・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに 印	項目	取り組みの成果 該当するものに 印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関 係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の 理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き生きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な く過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

## 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入居者さんを、個人として尊重し、プライバシーを守り、安心と尊厳のある生活が実現するよう努めている。ホームの基本理念は開設当初から職員が意識して実践している。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	開設当初より町内会には入会し、行事等には参加している。地域の保育園児が散歩の途中に寄ってもらったりしている。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	見学者や会合での話の中で認知症やホームの役割等を話し理解を求めている。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族・町内会・見識者などの協力を得て不定期に年6回開催したが参加者が固定され参加者も少なくなかなかスムーズな開催とはいかなかった。地域住民・ご家族の協力を一層深めるように議題等も考えながら開催したい。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	今年1月にはスプリンクラー設置して監査等に来訪された。札幌の火災に関連して消防・旭川市建築指導・介護高齢課などが査察にこられた。地域包括センターの研修にも積極的に参加している。		
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全体会議・フロアー会議において身体拘束禁止に取り組んでいる。スタッフの認識も一致している。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全体会議・フロアー会議において話し合いの場を設けている。管理者・看護師等が勉強会等を実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者が外部研修に参加し学んでスタッフに説明している。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前・契約凍結時に必ず家族等に十分時間をとり説明・同意をいただいている。不安や疑問の際はその都度、説明し理解を頂いている。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者さんご家族の要望事項等を気軽に話せる雰囲気を作り、要望事項を反映するように心がけている。		
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議・ミーティングなどで話し合いや、意見を聞いて業務改善に取り組んでいる。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	施設長は管理者を兼ねており日頃よりスタッフのキャリアアップに取り組んでいる。労働環境・やりがいをもてるように会議等において職員の意見を聞いて出来る限り改善している。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員に対し研修・セミナーの開催などを回覧し積極的な参加をうながしている。看護師による勉強会を頻回に実施して能力の向上を図っている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム研究会・合同研修会などの職員参加して、他事業所との連携を図るようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に本人・家族に来所していただき、要望事項・身体状況などお聞きし対応している。本人が来所できない場合は、自宅・病院等に出かけて説明等をしている。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に、ご家族から今までの過程やご苦勞を傾聴し、ご家族との関係を築いている。気軽に相談できる雰囲気づくりに努めている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時に、何の支援を必要としているか、何を求めているのか見極め必要な支援・介護・医療等を提供している。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の状況をよく見極め、その人らしい生活をしていただけるように、信頼関係を構築するように心がけている。		
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	機会あるごとに、入居者さんの状況を伝え何かあればご家族に協力してもらえる関係を築いている。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人知人との面会、外出・外泊などできる限り希望に添うように、また面会制限はしていない。		
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者さん個々が穏やかに過ごせるように職員が個々の個性を尊重しながら配慮し行動している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も入院先等をたずねて状況を把握し家族の相談等に対応している。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中から会話・行動・表情・そぶり等から本人の希望等をさがしスタッフ全員で検討し実践している。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	今までの、生活習慣をご家族や本人からよく聞き今までの生活習慣を崩さないように努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝のミーティングで入居者さん個々の状況等を連絡してスタッフ全員で情報を共有して状況把握している。一人ひとりの管理簿・連絡ノートにも記載回覧している。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者さん・ご家族からご意見や思いを聞き全体会議・フロー会議等で話し合いサービス担当者会議を経て介護計画を作成している。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者さん一人ひとりのファイルを作成し、食事量・血圧・脈拍・体温・尿便回数・その他特異事項等を記入、日々の状況記入しサービス計画に役立てている。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人・ご家族の状況、ニーズ対応し柔軟に対応できる体制をとっている。外泊や外出等に対しての送迎はもとより緊急時にも対応できる。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居者さんが地域に溶け込めるように町内会の行事等に参加したり、町内を散歩したりして豊かな暮らしが出来るように支援している。		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人や家族が希望する病院を受診している。希望が無い場合は医療法人の及川医院を受診している。毎週及川院長が往診して状況を把握している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は入居者さんの健康管理に気を配り管理日誌・連絡ノート・メモ等に記載し看護師に連絡忘れの無い様にし常に連携を図っている。常に適切な医療を受けられるようにしている。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には職員が医療機関と家族の連絡等を密に取り状況報告・入院時必要品等の運搬、ご家族の要望などを聞き取り対応している。かかりつけ医とは常に情報提供などをして関係づくりに努めている。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重症・重度化した場合はどのように対応するか常に家族と話し、意思確認をしている。重度化した場合にはどうするかかかりつけ医と、常に話し合っている。ターミナルケアは今のところ実践されていない。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	看護師を中心に勉強会を実施している。常に急変時及び事故発生時に対応できるようにしている。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署・消火設備会社の協力を得て通報訓練・避難訓練・消火訓練などを定期的に行っている。町内会等についても緊急時の対応を依頼している。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に個人として尊重し、安心と尊厳のある生活が実現できるように入居者さん個々に対応している。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者さんの主体的決定を尊重し又行える様に支援しその決定を尊重する。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者さん個々のペースに合わせて可能な限り対応し、強制はしていない。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入居者さん個々の生活習慣、好みなどを尊重し出来る限り支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者さんの嚥下状況・咀嚼能力などに合わせて調理し、準備できる場所は手伝ってもらい職員と一緒に食事をしている。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量(主食・副食)・水分摂取量など日々チェックし個々の記録簿に記載し確認・把握をし対応している。体調・状態に合わせた調理・形態にしてバランスを考え支援している。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアの大切さは職員が理解している。声掛け、誘導、見守りなどしながらそれぞれの能力に応じた対応をしている。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排便チェック表で管理し職員・看護師と協力しながら個々の体調・パターンなど考慮しながら自立に向けた支援をしている。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	入居者さんの生活状況・体調・食事量など考慮しながら飲食物を工夫して便秘予防に努めているが薬に頼らなければならない場合が多くなってきている。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入居者さんの希望や体調に合わせた入浴を心がけている。楽しく入浴できるように入浴剤の使用や雰囲気づくりに心がけている。入浴日は週4回。特別の場合は随時入浴。		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活習慣・体調などを考慮してその状況に応じた対応し、気持ちよく睡眠できるよう配慮している。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報を個々の記録簿にファイリングし職員が薬の内容を確認できるようにしている。(効能・効果・副作用等)		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	楽しく日々を過ごせるように入居者さんの同意を得てできそうなことは、お願いしている。感謝の気持ちを伝えている。洗濯手伝い・献立メニュー掲示・簡単な掃除等		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>個々の身体状況・健康状況などを考え、なるべく希望に添えるよう心がけている。散歩はもとより花見・イベント見学・買い物等は実施している。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族の同意・希望により小額のお金を持っている方もいるがその他の方は普段はご家族・本人等の同意を得てお金を預かり、買い物のときに渡して支払をしてもらっている。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>入居者さんが電話を個室に設置している方もいるが、ない方も職員に申し出たり、かけたいしぐさ等を感じ取り対応している。手紙は一緒にポストまで行ったりして投函している。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居間・廊下・食堂等に四季を感じる飾り付けをしていたが、火災等のこともあり可燃性の飾りは職員と話し自粛した。入居者さんと一緒に飾り付けはしている。入居者さんが心地よく日常が過ごせるようにTV・CD・日光などに配慮している。</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールにソファを置き思い思いに談話・談笑できるように工夫している。</p>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者さんが家族と相談しながら思い思いの家具やなじみの品々を持ち込み入居者さんが居心地よく過ごせるようにしている。職員もアドバイスしながら実施している。</p>		
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>入居者さん個々の状況に合わせてできることできないことをスタッフ間で話し合い日々検討し安全で自立できる生活が送れるようにしている。</p>		



## 目標達成計画

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の実施日時及び議題等が出席者と、うまくかみ合わなく一方的な話になる。	定期的な運営会議及びたくさんの参加メンバーを確保し、たくさんの参加者から意見を聞きホームのより良い運営が出来るようにしたい。	無理の無い日時の設定の構築、ホームのイベントへの参加促進、家族への運営会議参加啓蒙、町内会はもとより各福祉団体等にも参加を呼びかける。	12ヶ月
2	13	職員教育で外部研修の参加が少なく、新たな情報や認知症ケアの勉強が出来ていない。	日々のケアにおわれて研修に参加できない事情があるができる限り参加できる体制を構築する。	職員間の協力により参加できる機会を作る。研修参加できる雰囲気づくり。	3ヶ月
3	35	災害対策・地域の協力体制・関係づくり。	基本的な災害援助計画・地域組織協力体制	ホームの知名度・認識度・理解度などの啓蒙・町内会協力体制づくり。	12ヶ月
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。